

令和6年5月吉日

保護者の皆様

岡崎市立六ツ美中部小学校
校長 神谷 敦仁

**「暴風警報」「暴風雪警報」「特別警報」「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」
発表時における児童の登下校について変更のお知らせ**

岡崎市教育委員会からの依頼文書に基づき、見出しの警報等の発表時の対応を以下の通り変更（取り消し線〇〇〇〇及び黄色のハイライト）しましたので、御確認ください。

「暴風警報」「暴風雪警報」発表時の児童の登下校について

- 児童の登校前に、名古屋地方気象台から岡崎市に「暴風警報」「暴風雪警報」が発表されている場合
 - 午前6時**~~15分~~までに警報が解除された場合は、平常どおり授業を行います。
 - 午前11時**~~6時15分~~から**午前8時00分**までに警報が解除された場合は、**午後1時から**~~解除後2時間~~を経て授業を始めます。
<(1)・(2)の場合においても、道路の冠水、河川の増水、**積雪**等により、登校が危険なときは、登校しなくてよいです。>
 - 午前11時**~~8時00分~~以降警報が継続されている場合は、その日の授業は行いません。
- 児童の登校後に、名古屋地方気象台から、岡崎市に「暴風警報」「暴風雪警報」が発表された場合
 - 全児童を安全に帰宅させることができると認めた場合は、授業を中止してすぐに下校させます。
 - 通学路が危険と認められるとき**や下校が困難な場合、戸外の通行が危険と判断した場合は、校内の最も安全な場所に集め、危険がなくなるまで学校に残します。その場合、保護者の皆様にお迎えをお願いすることがあります。

*休日の午前中に「暴風警報」「暴風雪警報」が発表された場合は、その日の部活動はすべて中止します。

「特別警報」発表時の児童の登下校について

ただちに「命を守る行動」を最優先します

- 1 児童の登校前に、名古屋地方気象台から岡崎市に「特別警報」が発表されている場合
 - (1) 児童を登校させません。
 - (2) 特別警報解除後も、災害の状況及び気象・通学路の状況等の情報収集に努め、児童が安全に登校できると判断できるまで、登校させません。
- 2 児童の登校後に、名古屋地方気象台から岡崎市に「特別警報」が発表された場合
 - (1) ただちに授業を中止し、災害の状況や気象・通学路の状況等に係る情報収集に努め、児童の生命及び安全を確保する最善の対応（校内学校留め置き、校外の避難場所への移動、保護者への引き渡し等）を迅速に行います。
 - (2) 下校が困難な場合や、戸外の通行が危険と判断した場合は、児童を最も安全な場所に集め、危険がなくなるまで学校に残します。その場合、特別警報解除後も、災害の状況及び気象・通学路の状況等に係る情報収集に努め、児童が安全に下校できると判断できるまでは下校させません。

* 「暴風警報」「暴風雪警報」及び「特別警報」以外の警報や注意報の発表は、学校から特に連絡のない限り登校させてください。

なお、河川の増水や道路状況が悪く、登校に危険が伴う場合には登校する必要はありません。

* 緊急時には、町内放送・学校情報メール等でも連絡しますので、学校への問い合わせはできるだけ御遠慮ください。



御家庭でも掲示してください。

裏面につづく

「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表されたとき

- 1 児童の登校前に、情報が発表された場合
 - (1) 児童を登校させません。
 - (2) 情報が解除されるまで、学校は休校です。
- 2 児童の登下校途中に「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合
 - (1) 職員が各通学路に行き、登下校の指導をします。保護者の方もお迎えをお願いします。
 - (2) 登校中でも児童は速やかに帰宅し、自宅待機します。
 - (3) 学校から連絡があるまでは、休校となります。
- 3 児童の登校後に、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合
 - (1) **保護者への引き渡しを運動場で行います。**保護者のお迎えが来るまで、校内の安全な場所で児童を保護します。保護者の方は速やかなお迎えをお願いします。

引き渡しの流れ

 - 「4月の引き渡し訓練」と同じ流れ
 - ①児童は、学級ごとに運動場に並びます
※学校の指示に従い、無言で行動してください
 - ②兄弟姉妹がいる場合は、下の学年のお子さんの横につきます
※下の学年のお子さんについて担任の確認を受けてから、
上の学年のお子さんの引き渡しへ
 - ③引き渡しカードにより担任の確認を受けます
 - ④児童と帰宅します

※状況によっては、別の方法をとります。方法は、学校配信メール等で連絡します。
 - (2) 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、大規模な地震に備えるために、保護者は教室に入れません。